

都市計画道路 西片西宮線(2工区)の一部を供用開始しました

本市では、重点戦略の一つとして、新八代駅と国道3号を結び、市街地東部の都市軸を形成する全体延長 1,020m、幅員 16m の都市計画道路 西片西宮線の整備を行っています。

本路線は、事業工区を三つに分けて実施しており、今回、平成 29 年度から事業に着手した中間部の 2 工区(350m)の一部(約 250m)について、下記のとおり供用開始しました。

1. 背景・目的

本路線を整備することで、交通結節機能を強化し、観光振興や産業振興、地域間交流など地域の活性化に寄与するものである。併せて、周辺道路の渋滞解消や通学路の安全確保、並びに災害に強い道路ネットワークの形成による国土強靱化を推進するもので、平成20年度から実施している。

事業工区の三つのうち、北側起点部の 1 工区(360m)は、平成 20 年度に事業に着手し、平成 29 年 4 月に供用開始しており、南側終点部の 3 工区(310m)については、昨年度より事業に着手し、令和 10 年度末の全線開通を予定している。

2. 内 容

中間部の2工区(一部)について、供用を開始

3. 効 果

- ・通学路の安全確保
- ・沿線住民の交通アクセスの利便性向上

4. 供用開始日

令和5年6月27日(火)

